

江戸と国元の墓所

よしつら

— 遠野南部家28代義顔公の場合 —

義顔公の治世は40年余の長期に渡り、上席家老としても盛岡の藩政にも関わりました。また、宝暦・天明時代の大飢饉、天明4年(1784)には遠野始まって以来の大火に見舞われるなど大変な時代でした。天明5年(1785)に江戸屋敷で60歳で亡くなる義顔の埋葬と法要の様子を「八戸家傳記 後編」の解説で分かった事実と墓所改葬結果からお話していただきます。

日時

10月20日(日) 10:00~11:30

講師 藤田俊雄 氏



場所

市立図書館視聴覚ホール

定員

50名(参加無料)

昭和32年宮城県大崎市生まれ、東北学院大学文学部史学科卒業後、青森県八戸市へ奉職。博物館学芸員として考古・歴史分野を担当。また市史編纂室長として「新編八戸市史」刊行に携わり、市立図書館長として定年退職。現在、青森県文化財保護審議会委員、遠野市史編さん委員会副委員長(近世担当)。研究分野は、宗教(寺院、神社、修験)。

申込

前日まで電話等で申し込み

問い合わせ先：遠野市民センター 市史編さん室

TEL 0198-60-2800 FAX 0198-62-5758